



# 助産師レター

滋賀県看護協会助産師職能委員会

VOL. 37

平成30年4月

新年度が始まりました。皆さん如何お過ごしですか？

新人助産師さんが入職された職場、看護管理者の交代、育休明けの助産師さんを受け入れていく体制など、現場は何かと慌ただしい毎日かと想像します。

そういった中で、新たないのちの誕生や、私たちが必要としている妊産褥婦さんにとって、助産師の力を結集しながら、頑張っていきたいと思えます。

今年度も職能委員会の活動にご協力・ご支援をよろしくお願い致しますとともに、このレターを通して県下の助産師の皆さんに少しでも情報発信をしていきたいと思えます。

どうぞよろしくお願い致します。

(吉岡 千晴 委員長)

## 職能委員長会報告

### 平成29年度第2回全国職能委員長会の報告

平成30年3月2日(金) 10:00~16:30

TKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて開催

平成29年度助産関連事業と平成30年度重点事業・重点政策(助産関連)について説明がありました。助産師職能に関する重点政策・重点事業は2-2の「包括的母子保健推進における看護機能の強化」です。成果として院内助産・助産師外来推進のためのガイドラインが検討・作成され、今後はより実践に即した新たなガイドラインとして周知・普及していくこととなります。

また周産期医療体制の整備や医療技術の進歩に伴い、未熟児や低出生体重児、先天的な障がいを持った児の救命率が向上し、NICU/GCUに入院する児が増加しています。このことを背景に、医療ケア児の在宅移行支援や在宅での療育・療養支援強化等の体制整備が求められています。当県でもこの事業に鑑み3/8研修会が実施されました。次項参照

CLoCMiP®レベルⅢ認証申請については全国からの質問に対して回答がありました。特にアドバンス助産師<一般>更新で50例以上の分娩は達成が困難については、清潔手袋をはかなくても、学生や新人の指導も一例になること、育休や異動となった助産師の更新にも前向きに検討しているということでした。また必須研修に臨床推論が追加され、オン



デマンド研修が準備されています。1万人以上誕生したアドバンス助産師のさらなる実践能力強化むけて更新整備が始まっているため、日本助産評価機構のHPに注目していきましょう。

近畿2府4県でグループ討議を行いました。テーマは「院内助産・助産外来を活用した妊娠期から育児期における切れ目のない支援についてとアドバンス助産師の役割について」です。兵庫県の西播磨地区では姫路赤十字病院と姫路聖マリア病院の助産師、地区内の保健師が毎月事例検討や情報交換など会議を持っています。大阪ではEPSDの外人向け(11ヶ国分)を作成し、産後うつに対応しています。和歌山では事例検討は効果があるということから、年に数回事例を持ち寄って意見交換しているということでした。

母子保健統計によると、滋賀県の周産期死亡率など私たちに関連深い数字は上位に位置しています。県下の出産環境を一番身近に知ることのできる職能として、助産師間の顔の見える関係をさらに高め、周産期医療体制への課題発見・意見集約をしていきたいと感じました。

(吉岡 千晴)

## 平成 29 年度助産師職能集会

平成30年1月27日 (土) 9:30~12:00

寒い半日でしたが、23人参加されました。

全国と滋賀県の活動報告のあと、今年度のテーマ

「滋賀県における助産師出向の取り組み」についてそれぞれの立場から発表をしていただきました。特に出向された3名の報告と受けた頂いた側からの報告は、双方がWin-Winの関係であり、助産実践能力の向上につながっているという印象を受けました。

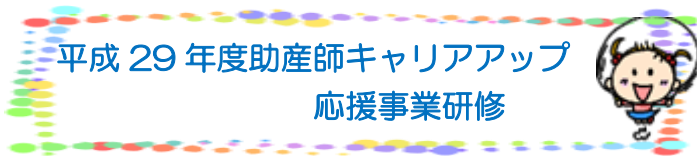
(川島 もと子)



## 第27回 滋賀県母性衛生学会 学術集会

平成30年1月21日(日) 11:00~17:00にニプロiMEPで盛大に開催されました。総合テーマは「子育て世代包括支援センター2020年全国展開に向けて」～妊娠前期から子育て期にわたる切れ目のない支援の実現のために～でした。助産師として社会の変化をいち早く察知し、滋賀県の、そして自分の市町の子育て支援について考える機会を頂きました。

(岡田 幸栄)



平成30年1月28日(日)

滋賀医科大学医学部附属病医院1FD棟 多目的室

講師：大石元子先生(高崎健康福祉大学)

テーマ：産科領域におけるフィジカルアセスメントでした。基本的な技術や観察について具体的に説明された内容でした。

(塩 成子)



## 包括的母子保健推進のための研修会開催

日時：平成30年3月8日(木) 13:30~16:30

開催場所：滋賀県看護協会 3階 研修室3

テーマは「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援をめざして」です。5名の発表者からの実践報告がありました。医療ケアの必要な児に対して、実情や情報を共有することができました。まだまだ自分達知らないことが多いこと、切れ目なく支援していくことの難しさを痛感しました。

(香川留美)

## ～研修会のお知らせ～

<平成30年度助産師職能委員会共同企画研修>

※平成30年6月7日(木) PM1:30~4:30

テーマ：事例から学ぶ！胎児心拍数モニタリングの判読とリスク診断

講師：滋賀医科大学：石河顕子先生

昨年度大好評でしたCTGの研修です。21事例をもとに意見交換しながらすぐに臨床で役立つ有意義な研修となりましたので、今年度も先生にお願い致しました。

※平成30年6月13日(水) PM1:30~4:30

テーマ：周産期の糖代謝状態の基礎知識と食事療法の実際

講師：滋賀医科大学：関根 理先生

滋賀医科大学医学部付属病院

：栗原美香先生

CLoCMiP レベルⅢ認証のための必須研修として「妊娠期から授乳期の栄養」があります。栄養の領域は、今後ますます私たちにも必要な知識となりますので、是非ご参加ください。

例年参加人数に十分余裕があります。